

早期からの継続した教育支援体制の整備に関する研究

ー小・中・高をつなぐ「引継ぎシート」の開発・試行を通してー

早期からの継続した一貫性のある指導・支援のための

「引継ぎシート」 作成・活用ガイドブック



目次

はじめに ～「引継ぎシート」～	2
-----------------	---

「引継ぎシート」を作成する 3

1 「引継ぎシート」の内容	3
2 「引継ぎシート」作成の対象	4
・スクリーニングシートの活用	4
3 保護者との情報共有	5
4 個人情報の取扱いについて	6
・個人情報の収集・利用の基本的な考え	6
5 「引継ぎシート」の記入方法	7
・「4 学習上・生活上の様子」各項目の説明	9
6 「引継ぎシート」と「個別の教育支援計画」等との関係	12
7 保存年月	14

「引継ぎシート」を活用する 15

1 小学校から中学校等への引継ぎについて	15
・「引継ぎシート」様式	17
・「引継ぎシート」の記入例	19
2 中学校から高等学校等への引継ぎについて	21
・「引継ぎシート」様式	23
・「引継ぎシート」の記入例	25

そこが知りたい Q&A 27

はじめに ～「引継ぎシート」～

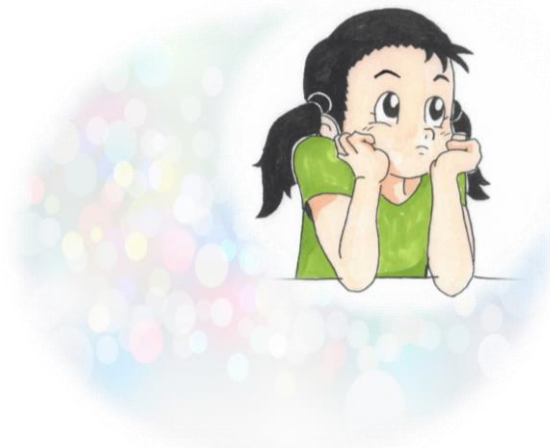
本県では、いわて特別支援教育推進プラン（2013～2018）に基づき、各市町村における特別な支援を要する幼児児童生徒への早期からの支援、特別支援学校による地域支援、教職員の専門性の向上、県民の特別支援教育への理解促進等に取り組んできました。

早期からの継続した教育支援体制について、各市町村における就学支援ファイル等の作成・活用の達成状況や、幼稚園・各学校における個別の教育支援計画等の作成・活用の達成状況から、卒業後を見据えた指導・支援や、取り組んできたことの引継ぎの大切さについては、理解が図られてきています。

しかしながら、いわて特別支援教育推進プラン（2019～2023）策定に係る調査結果によると、進学時の引継ぎや情報提供ができているとする保護者の肯定的評価の割合が低い傾向にあります。また、校種ごとに追うと、進学時の引継ぎや情報共有ができているとする肯定的評価の割合が、小学校から中学校、高等学校へと進むにしたがって低下している現状があります。

早期からの継続した一貫性のある指導・支援を行うためには、児童生徒の基本情報を盛り込んだ「引継ぎシート」を作成し、保護者と情報を共有しながら、支援内容や支援方法を進学先の学校へ切れ目なく引き継ぐことが必要と考え、今般策定したいわて県民計画（2019～2028）、岩手県教育振興計画、いわて特別支援教育推進プランにその開発を位置付けました。

本ガイドブックは、「引継ぎシート」の意義や作成までの流れ、実際の引継ぎスケジュール等を示しています。本ガイドブックを基に、「引継ぎシート」の作成・活用が広がり、それまでに積み上げてきた教育的ニーズに応じた指導・支援が、確実に進学予定の学校に引き継がれることを期待します。



「引継ぎシート」を作成する

「引継ぎシート」は、児童生徒の**基本情報**をまとめた内容で構成しています。

進学先の学校では、これらの情報を手がかりとして、児童生徒の概要を把握します。さらに必要となる情報があれば、現籍校と情報共有しながら指導・支援に生かすことができます。

「**基本情報**」とは、保護者からの聞き取りや学校での観察等で得られた児童生徒の概要（学習面・生活面・行動面・対人面等）を整理したものです。基本情報をもとに、現籍校からさらに必要な情報を共有することができます。（指導要録や個別の教育支援計画、個別の指導計画等）



1 「引継ぎシート」の内容

「引継ぎシート」の内容は、以下の5項目になっています。

	項目	ねらい	記入の仕方
1	児童生徒の概要	児童生徒の基本情報を共有し、進学先での支援に生かします。「興味・好きなこと」や「苦手なこと」、「本人の将来の希望」等を確認します。	児童生徒本人の基本情報を記入するものです。「家族関係の特記事項」には、本人の状態や支援内容を検討する上で必要な情報を記入します（例：家族構成、外国籍の保護者、家庭内使用言語等）。
2	保護者からの要望	保護者からの要望を理解した上で、指導・支援の方向性や具体的な支援方法等を確認します。	保護者からの要望に該当する事項について、学習、生活、発達、健康等、当てはまる欄にチェックを入れます。「保護者の要望」の欄には、その事項についての要望等を記入します。
3	出席状況	教育上特別な支援を必要とする児童生徒の出席状況や学びの場の様子を確認します。	児童生徒が学習活動を行っている場所に当てはまる欄にチェックを入れます。出席日数等に数字を記入するとともに、欠席・遅刻・早退・別室登校がある場合には、理由・きっかけを記入します。
4	学習上・生活上の様子	児童生徒が学校生活や家庭生活において獲得・活用している内容を確認するとともに、教育上特別な支援を必要とする内容についても多面的に確認します。	学校での様子を記入します。あらゆる障がい種や児童生徒の状況に対応するために、特別支援学校学習指導要領「自立活動編」の自立活動の項目を参考に作成しています。
5	学校での様子	現籍校での児童生徒の様子を一日の流れに沿って確認します。併せて、現籍校で行っている支援内容や配慮事項を確認します。	小学校から中学校への引継ぎに関しては、小学6年時の様子を記入します（中学校から高等学校の場合は、中学3年時）。保護者と確認している合理的配慮は、必ず記入します。 支援を必要としない項目は、記入する必要はありません。

【引継ぎシートの目指すもの】

支援の必要な児童生徒一人一人の状況を的確に把握するとともに、児童生徒の置かれた状況を保護者や関係機関で情報共有し、乳幼児期から学校卒業までを通じて継続した的確な支援を行うために、組織的・計画的に支援を行うことを目的に作成します。進学時の引継ぎに対する保護者の不安を取り除き、「引継ぎシート」が進学先の学校において、必要な支援を継続的に行うための重要なツールとなることを目指しています。

2 「引継ぎシート」作成の対象

「引継ぎシート」作成の対象者は、教育上特別な支援を必要とする児童生徒であり、医療機関からの診断の有無は問いません。対象者を以下に示します。

- ① 通常の学級に在籍する教育上特別な支援を必要とする児童生徒
- ② 特別支援学級に在籍する児童生徒
- ③ 通級による指導を受けている児童生徒



①通常の学級に在籍する教育上特別な支援を必要とする児童生徒とは

・ 知的発達が遅れが疑われる	・ 能力や興味関心の偏りが見られる
・ 行動面に困難さが感じられる	・ 対人面に困難さが感じられる
・ 社会性に困難さが感じられる	・ 学習面に困難さが感じられる

担任や教科担任、部活動顧問等の様々な立場から、学習、行動、人間関係で困っている児童生徒に「気づく」ことが大切です。また、チェックリストやアセスメントシート等の共通のツールを用いることによって、的確な実態把握につながります。

スクリーニングシートの活用

教育上特別な支援を必要とする児童生徒をスクリーニングするにあたっては、「学習面」「行動面」「対人関係」等の総合的な観点から見ていきます。下記のスクリーニングシートは文部科学省のもので、このシートは、平成27年度岩手県立総合教育センター資料「活用ツール&資料集」からダウンロードが可能です。

<児童生徒スクリーニングシート（第1次・第2次スクリーニング）>

第1次調査	
気になる児童生徒のチェックシート	
A【教科指導における気付き】	
チェック種	項目
	国語・算数（数学）の基礎的な能力（聞く・話す・読む・書く・計算する・推論する）のいずれかに著しい困難（遅れ）がある
	本人の興味のある教科には熱心に参加するが、そうでない教科では退屈そうに見える
	本人の興味のある特定分野の知識は大人顔負けのものがある

① 第1次スクリーニングシートの活用

全員に行うことで、支援が必要な児童生徒への「気付き」「発見」につながります。結果に応じて、第2次スクリーニングの実施をします。

第2次調査		年 組 対象児童生徒氏名							
◇チェックリスト A 学習面（「聞く」「話す」「読む」「書く」「計算する」「推論する」）									
観	観	点		点		点		備考	
		ない	ある	ない	ある	ない	ある		
聞く	1	聞き間違いがある（「聞いた」と「行った」と聞き間違える）							
	2	聞き間違いがある							
	3	個別に言われると聞き取れるが、集団場面では難しい							
	4	指示の理解が難しい							
	5	話し合いが難しい（話し合いの役割が理解できず、ついでにいけない）							
	6	適度な速さで話すことが難しい（たどたどしく話す。とても早口で話す）							

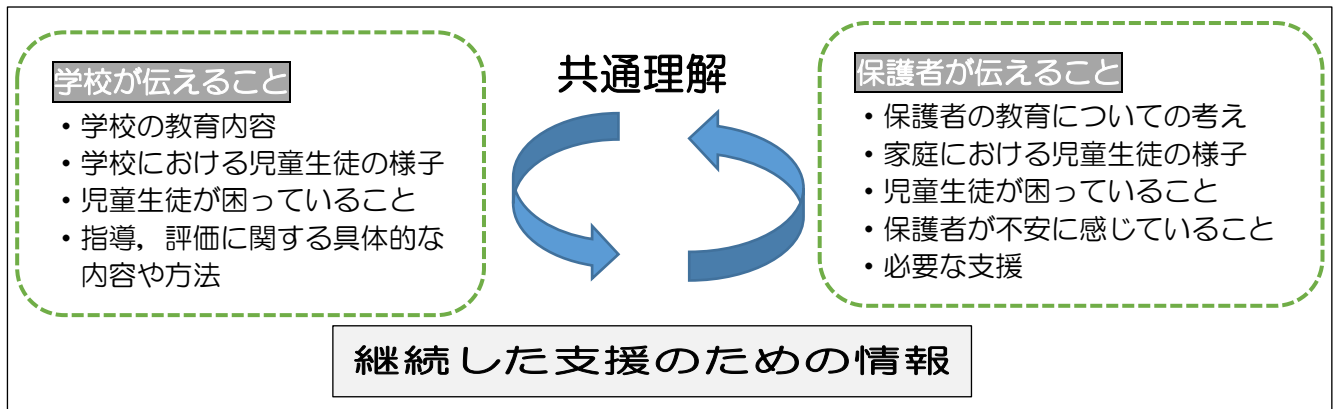
② 第2次スクリーニングシートの活用

支援が必要と思われる児童生徒がすでに絞り込まれている場合には、初めから第2次スクリーニングシートを利用して困難さを把握し、支援方法を検討することもできます。第2次スクリーニングの結果により、特別支援教育コーディネーターと支援レベルと支援内容の検討を行います。

3 保護者との情報共有

学校と保護者が情報を共有しながら指導・支援を行うことは、学校における適切な指導内容や必要な支援方法を設定する上で重要であり、さらには、**学校での取組や児童生徒の様子を保護者に理解してもらう上でも重要なことです。そのため、日頃から学校と保護者が情報共有をすることが重要となります。**

継続した一貫性のある指導・支援につなげるための確実な引継ぎという目的のもと、「引継ぎシート」に記載する文章を確認することは、改めて情報を共有することにもつながります。



「引継ぎシート」作成にあたり、保護者の理解を得ましょう

家庭と学校で協力して支援を行うためには、児童生徒の状況を正しく理解するために、教育上特別な教育的支援の必要性について保護者が納得することが大切です。保護者との話し合いの場を継続的に設け、学校生活の中での具体的なエピソードやノート等の資料を提示しながら、話し合いを進めていきます。

保護者の中には、障がいや特別支援教育についての理解が十分でなく、学校での様子を聞いて戸惑う保護者もいます。学校として、保護者への「引継ぎシート」の理解啓発を行いながら、該当児童生徒の保護者と連携して支援を行うことが重要です。

「引継ぎシート」の説明（例）

保護者との話し合いの進め方（例）

- 1 児童生徒の様子を保護者に知らせる
 - ・得意なことや頑張っていること、特性から生じていると思われるつまずきの状況等を知らせます。
- 2 家庭での様子を聞く
 - ・悩んでいることや願い、要望等を聞きます。
- 3 保護者の願いを支援に活かす
 - ・保護者の願いを尊重します。
 - ・願いや要望に向けて、進学先での支援について情報を共有します。
- 4 「引継ぎシート」について説明し、承諾を得る
 - ・情報を引き継ぐことによって、継続した一貫性のある支援につながることを確認します。

「引継ぎシート」は、これまで行われてきたお子さんの支援について、進学予定の学校に、その支援を確実に引き継ぐためのシートです。お子さんの得意なことや苦手なこと、学校の様子などを伝え、入学後に円滑な支援が受けられるようにしていきます。将来の希望や保護者の方々の要望等も伝え、家庭と学校が協力しながら、お子さんのよりよい学校生活について考えていきたいと思っています。

4 個人情報の取扱いについて

本人や保護者の中には、個人情報が他の人に知られることに不安を感じている方もいます。学校においては、各自治体が定めている個人情報保護条例によって、個人情報の取り扱いに関して組織的に取り組み、徹底した管理を行います。そのことを保護者と本人に説明し、他機関も同様の取組をしていることを伝え、不安を取り除くようにします。また、「引継ぎシート」作成の意義や利用目的の説明と関係者を明確化し、他機関への提供について保護者や本人の同意を得ます。

以下に個人情報の扱いについての基本的な考え方を示します。

【個人情報の収集・利用の基本的な考え】

- 1 個人情報の収集
 - (1) 本人や保護者からの直接収集が原則
 - (2) 上記以外の場合は、本人や保護者からの同意が必要
- 2 個人情報を利用する際の原則
 - (1) 目的外利用の原則禁止
 - (2) 外部提供の原則禁止
- 3 個人情報を提供する際の本人や保護者への通知と同意の必要性
- 4 公務員としての守秘義務



5 「引継ぎシート」の記入方法

作成に当たっては、特別支援教育コーディネーター等が中心となり、特別支援教育校内委員会等で、作成対象児童生徒、作成時期や作成の仕方等確認します。校内体制のもと継続した一貫性のある指導・支援につなげていくことが大切です。

各項目について、記入の仕方や記入例を示します。引継ぎにおいて重要と思われる項目を記入してください。「5 学校での様子」は、支援を必要としない項目は、記入する必要はありません。

「1 児童（生徒）の概要」について

児童生徒本人の概要を記入するものです。「家族関係の特記事項」には、本人の状態や支援内容を検討する上で必要な情報を記入します（例：家族構成、外国籍の保護者、家庭内使用言語等）。

1 児童の概要				
児童氏名		性別	生年月日	
ふりがな 氏名	[ふりがな] ○○ ○○○	男	○年	○月 ○日
関係医療機関		関係相談機関（者）・支援機関（者）		
病院名	○○病院	機関名	○○センター	スクールカウンセラー
主治医	○○○○	担当者	○○○○	○○○○
診断名	ADHD	相談時期	X年～	X年～(月に1回)
診断時期	小学5年生	その他参考事項	○年に心理検査実施	母親の相談している
服薬（薬名）	有（○○）・無	有（ ）・無	手帳の所持状況	
その他参考事項	服用による体調の変化に留意してほしい。	<input type="checkbox"/> 身体障害者 <input type="checkbox"/> 療育 <input type="checkbox"/> 精神保健福祉		
興味・好きなこと	<ul style="list-style-type: none"> ・工作が得意。 ・スイミングスクールに通っており、長い距離を泳ぐのが得意である。 			
苦手なこと	<ul style="list-style-type: none"> ・相手の気持ちを感じるのが苦手。言葉が乱暴になる時がある。 ・聞いたことをすぐに忘れてしまう。 			
本人の将来の希望（進路含む）	<ul style="list-style-type: none"> ・学習が理解できないので、分かるように教えてもらいたい。 ・（本人の夢として）工業高校に進学して、エンジニアになりたい。 			
家族関係の特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・母、本人、妹。 			

元号で記入。

診断開始時期を記入。

相談開始時期を記入。

服薬が複数の場合、主なものを2つ記入。

医師からの助言を記入（安全面、配慮事項等）。

学習面、生活面、友人関係、特性等を記入。

家族構成、外国籍の保護者、家庭内使用言語等を記入。

具体的な進路や本人の夢、将来の暮らし方等について記入。

「2 保護者からの要望」について

保護者からの要望に該当する事項について、学習、生活、対人、発達、健康等、当てはまる欄にチェックを入れます。「保護者の要望」の欄には、その事項についての要望等を記入します。

2 保護者からの要望	
<input checked="" type="checkbox"/> 学習 <input checked="" type="checkbox"/> 生活 <input type="checkbox"/> 対人 <input type="checkbox"/> 発達 <input type="checkbox"/> 健康 <input type="checkbox"/> その他（ ）	特に支援を必要とする事項にレを記入。その他には「進路」等記入。
<ul style="list-style-type: none"> ・宿題の量が多く、家庭学習に時間がかかった。中学校では、本人と相談して宿題の量を決めてほしい。 ・忘れものが多い。先生の指示をすぐに忘れてしまうことが多い。小学校では、メモをとるよう声がけをしてもらっていたので、中学校でも引き続きお願いしたい。 	
本人や進学先の学校に対する願いや支援が必要と思われることを記入。家庭で取り組んでいることを記入。	

「3 出席状況」について

児童生徒が学習活動を行っている場所に当てはまる欄にチェックを入れます。出席日数等に数字を記入するとともに、欠席・遅刻・早退・別室登校がある場合には、理由・きっかけを記入します。別室登校も出席日数に含めて記入します。

3 出席状況						
<input checked="" type="checkbox"/> 教室	<input type="checkbox"/> 保健室・別室	<input type="checkbox"/> 適応指導教室	<input type="checkbox"/> その他（ ）			
学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年
保健室・別室・適応指導教室					3	7
遅刻					5	10
早退					10	20
欠席・遅刻・早退・別室登校がみられた理由・きっかけ					友達とのトラブル	教室に入りたくない

作成対象となった学年時から記入。

適応指導教室への登校、出席も含む。

「4 学習上・生活上の様子」について

学校での様子を記入します。あらゆる障がい種や児童生徒の状況に対応するために、特別支援学校学習指導要領「自立活動編」の自立活動の項目を参考に作成しています。各項目の説明（補助資料）について、次頁に示します。

4 学習上・生活上の様子（できているところにレを記入してください。困難さが無い場合は、全てにレを記入してください。困難さについては、項目の1・2・5の欄に自由に記入してください。）

健康	<input type="checkbox"/> 生活リズムが整っている <input checked="" type="checkbox"/> 基本的な生活習慣（食事・睡眠・排泄）が身に付いている <input checked="" type="checkbox"/> 衣服の調節ができる <input checked="" type="checkbox"/> 清潔の保持ができる <input checked="" type="checkbox"/> 自分の病気の状態を理解できる <input type="checkbox"/> 自分の病気の状態を自己管理できる <input type="checkbox"/> 健康に関して自己管理できる <input type="checkbox"/> 健康状況に伴う困難さの状態や必要な支援について他者に伝えることができる
心理	<input type="checkbox"/> 情緒が安定している <input type="checkbox"/> 状況に応じて不安や緊張を軽減する <input type="checkbox"/> 自分の困難さの状態を理解したり、受容したりしている
人間関係	<input checked="" type="checkbox"/> 他者との関わりを好む <input type="checkbox"/> 他者の意図や感情を理解している <input type="checkbox"/> 場に応じた適切な行動をとる <input type="checkbox"/> 自分の得意なことや不得意なことを理解している <input checked="" type="checkbox"/> 集団の中で状況に応じた行動ができる
環境	<input checked="" type="checkbox"/> 自分の感覚を有効に活用できる <input type="checkbox"/> 自分の感覚の過敏さや認知特性について理解している <input checked="" type="checkbox"/> 補助機器を活用して自分の視覚・聴覚・触覚・嗅覚等の困難さを補っている <input type="checkbox"/> 感覚を総合的に活用して、的確な判断や行動ができる
身体	<input checked="" type="checkbox"/> 姿勢保持ができる <input checked="" type="checkbox"/> 上肢・下肢の運動や動作がスムーズである <input checked="" type="checkbox"/> 補助的手段を活用して姿勢保持や運動・動作ができる <input checked="" type="checkbox"/> 学習・作業のための基本的動作（書字・描画等）が身に付いている <input checked="" type="checkbox"/> 日常生活に必要な移動能力がある（※車椅子等の補助的手段を活用する場合は、右欄に記載すること）→（ ）
コミュニケーション	<input type="checkbox"/> 相手の意図を受け止める <input checked="" type="checkbox"/> 自分の考えを伝える <input type="checkbox"/> 事物や現象、自分の行動に対応した言語を身に付けている <input checked="" type="checkbox"/> 話し言葉を使ってコミュニケーションができる <input checked="" type="checkbox"/> 文字・記号、機器、手話等を活用してコミュニケーションができる <input type="checkbox"/> 場や相手に応じたコミュニケーションができる

できているところにレ点でチェック。



【補助資料】「4 学習上・生活上の様子」各項目の説明

区分	項目	説明
健康	<input type="checkbox"/> 生活リズムが整っている	<ul style="list-style-type: none"> ・1日の生活のリズムが整っている。 ・体温の調節機能が正常である。 ・昼夜の区別がついている。
	<input type="checkbox"/> 基本的な生活習慣（食事・睡眠・排泄）が身に付いている	<ul style="list-style-type: none"> ・極端な偏食ではない。 ・自分で食事がとれる。 ・覚醒と睡眠のリズムが規則的である。 ・自力排泄ができる。
	<input type="checkbox"/> 衣服の調節ができる	<ul style="list-style-type: none"> ・特定の衣服にこだわらない。 ・気温や気候に応じて衣服の調節ができる。
	<input type="checkbox"/> 清潔の保持ができる	<ul style="list-style-type: none"> ・身だしなみを整えることができる。 ・清潔や衛生を保つことに必要なことを理解している。
	<input type="checkbox"/> 自分の病気の状態を理解できる	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の体調や病気の状態の変化に留意できる。 ・病状に応じた対応を知っている。
	<input type="checkbox"/> 自分の病気の状態を自己管理できる	<ul style="list-style-type: none"> ・病気が悪化しないように自己管理（食事、運動、姿勢変換等）ができる。 ・生活のリズムを整える。 ・服薬の必要性について理解している。
	<input type="checkbox"/> 健康に関して自己管理できる	<ul style="list-style-type: none"> ・健康を保つために必要なことを理解している。
	<input type="checkbox"/> 健康状況に伴う困難さの状態や必要な支援について他者に伝えることができる	<ul style="list-style-type: none"> ・自己の障がい特性を理解し、学習上又は生活上の困難を理解している。 ・状況に応じて、必要な支援を他者に働きかける。
心理	<input type="checkbox"/> 情緒が安定している	<ul style="list-style-type: none"> ・心理的に緊張したり不安になったりする状態が継続していない。
	<input type="checkbox"/> 状況に応じて不安や緊張を軽減する	<ul style="list-style-type: none"> ・場所や場面が変化しても、その状況を理解して適切な行動をとることができる。
	<input type="checkbox"/> 自分の困難さの状態を理解したり、受容したりしている	<ul style="list-style-type: none"> ・自己の障がいの状態や特性を理解し、困難さを改善・克服しようとする。
人間関係	<input type="checkbox"/> 他者との関わりを好む	<ul style="list-style-type: none"> ・他者からの働き掛けを受け止め、それに応ずることができる。
	<input type="checkbox"/> 他者の意図や感情を理解している	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉や表情等から相手の思いや感情等を読み取ることができる。
	<input type="checkbox"/> 場に応じた適切な行動をとる	<ul style="list-style-type: none"> ・相手の立場や相手が考えていること等を推測し、他者と関わる。 ・相手の立場や相手が考えていること等を推測し、場に応じた行動をとる。
	<input type="checkbox"/> 自分の得意なことや不得意なことを理解している	<ul style="list-style-type: none"> ・自己の得意、不得意を理解している。
	<input type="checkbox"/> 集団の中で状況に応じた行動ができる	<ul style="list-style-type: none"> ・集団の中で相手の立場や相手が考えていること等を推測し、他者と関わる。 ・集団の中で相手の立場や相手が考えていること等を推測し、状況に応じた行動をとる。
環境	<input type="checkbox"/> 自分の感覚を有効に活用できる	<ul style="list-style-type: none"> ・視覚、聴覚、触覚など保有する感覚を活用して、学習や日常生活に必要な情報を収集できる。
	<input type="checkbox"/> 自分の感覚の過敏さや認知特性について理解している	<ul style="list-style-type: none"> ・自己の感覚の過敏さや認知の偏りについて、適切に対応できる。
	<input type="checkbox"/> 補助機器を活用して自分の視覚・聴覚・触覚・嗅覚等の困難さを補っている	<ul style="list-style-type: none"> ・タブレットや補聴器等、補助器具を活用することができる。 ・感覚の過敏さによる困難を軽減するために、補助機器を使用する。
	<input type="checkbox"/> 感覚を総合的に活用して、的確な判断や行動ができる	<ul style="list-style-type: none"> ・視覚、聴覚、触覚などいろいろな感覚やその補助及び代行手段を活用して、情報を収集したり環境の状況を把握したりして、的確な判断や行動ができる。
身体	<input type="checkbox"/> 姿勢保持ができる	<ul style="list-style-type: none"> ・日常的に自力で臥位、座位、立位などの姿勢が保持できる。

	<input type="checkbox"/> 上肢・下肢の運動や動作がスムーズである	・姿勢保持，姿勢変換，移動などの基本的な動作ができる。
	<input type="checkbox"/> 補助的手段を活用して姿勢保持や運動・動作ができる	・座位安定のためのいす，杖，歩行器，車いす等の補助的手段を活用して，姿勢保持や運動等ができる。
	<input type="checkbox"/> 学習・作業のための基本的動作（書字・描画等）が身に付いている	・安定した座位や立位を確保しながら，上肢を動かすことができる。 ・書字や描写等に必要な基本的な動作が身に付いている。
	<input type="checkbox"/> 日常生活に必要な移動能力がある（※車椅子等の補助的手段を活用する場合は，右欄に記載すること）→（ ）	・自力での身体移動や歩行，歩行器や車いすでの移動ができる。
コミュニケーション	<input type="checkbox"/> 相手の意図を受け止める	・音声や各種の文字，記号等を用いて，相手の意図を受け止める。
	<input type="checkbox"/> 自分の考えを伝える	・音声や各種の文字，身振りや表情，指示等で考えを伝える。
	<input type="checkbox"/> 事物や現象，自分の行動に対応した言語を身に付けている	・事物や現象等に対応した言語を身につけている。
	<input type="checkbox"/> 話し言葉を使ってコミュニケーションができる	・話し言葉を使って，他者とのコミュニケーションができる。
	<input type="checkbox"/> 文字・記号，機器，手話等を活用してコミュニケーションができる	・話し言葉以外の各種の文字や機器等を利用して，他者とのコミュニケーションができる。
	<input type="checkbox"/> 場や相手に応じたコミュニケーションができる	・伝えようとする側と受け取る側との人間関係や状況を把握して，コミュニケーションができる。

「5 学校での様子」について

小学校から中学校への引継ぎに関しては，小学6年時の様子を記入します（中学校から高等学校の場合は，中学3年時）。保護者と確認している合理的配慮は，必ず記入します。

小学校版

5 学校での様子			
指導形態			
<input checked="" type="checkbox"/> 通常の学級		<input type="checkbox"/> 特別支援学級	<input type="checkbox"/> 通級による指導
		<input type="checkbox"/> その他（ ）	
場面	様子等	支援内容・配慮事項	本人の支援継続希望
登下校時 配慮あり <input type="checkbox"/> 配慮なし <input checked="" type="checkbox"/>			
授業中 配慮あり <input checked="" type="checkbox"/> 配慮なし <input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> 通常の学級 <input type="checkbox"/> 特別支援学級 <input type="checkbox"/> 通級による指導 <input type="checkbox"/> その他 ・授業中に気になることがあると離席することがある。	・授業の見通しを持たせる。 ・一文一動作の指示にする。	○
学習以外の時間 配慮あり <input checked="" type="checkbox"/> 配慮なし <input type="checkbox"/>	・意見の違いから友達とトラブルになることが多かった。	・行動が改善するよう、個別に SST の学習を行った。	
集団活動 配慮あり <input checked="" type="checkbox"/> 配慮なし <input type="checkbox"/>	・長時間の活動になると、集中が続かないときがあった。	・活動の見通しを持たせた。短時間の活動を多く取り入れた。	
放課後 配慮あり <input checked="" type="checkbox"/> 配慮なし <input type="checkbox"/>	・学童クラブで過ごしている。宿題の取組が遅いようだ。	・学童の先生方に声をかけてもらっていた。	
その他参考事項	・提出物がそろわない。	・連絡帳の内容を担当が確認した。忘れ物が多くなった時は、家庭へ連絡した。	○

支援が必要と思われるものの中から，本人の様子を記入。その様子に応じた支援内容や配慮事項を記入。

放課後の様子を記入。

進学先の学校で，現籍校での支援の継続を希望する場合には ○ を記入。

指導上参考になる事項を記入。

中学校版

5 学校での様子

指導形態			
<input checked="" type="checkbox"/> 通常の学級		<input type="checkbox"/> 特別支援学級	
<input type="checkbox"/> 通級による指導		<input type="checkbox"/> その他（ ）	
場面	様子等	支援内容・配慮事項	本人の支援継続希望
登下校時 配慮あり <input checked="" type="checkbox"/> 配慮なし <input type="checkbox"/>	・遅刻が多かった。	・家庭への連絡を頻繁に行った。就寝時刻をチェックし、声がけを行った。	<input type="checkbox"/>
授業中 配慮あり <input checked="" type="checkbox"/> 配慮なし <input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> 通常の学級 <input type="checkbox"/> 特別支援学級 <input type="checkbox"/> 通級による指導 <input type="checkbox"/> その他 ・午前中から眠たそうにしている時が多かった。	・個別に声がけをした。	<input type="checkbox"/>
学習以外の時間 配慮あり <input type="checkbox"/> 配慮なし <input checked="" type="checkbox"/>			
集団活動 配慮あり <input checked="" type="checkbox"/> 配慮なし <input type="checkbox"/>	・遅刻した日は集中して活動することが難しい。	・個別に声がけをした。保健室で休憩するように促した。	
部活動 配慮あり <input type="checkbox"/> 配慮なし <input checked="" type="checkbox"/>	・サッカー部に所属していた。選手として活躍していた。		
その他参考事項			

進学先の学校で、現籍校での支援の継続を希望する場合には○を記入。

部活動での様子を記入。

★「保護者の同意欄」について

「引継ぎシート」は、保護者の同意を得て作成するものです。保護者の同意を得ることによって、進学予定の学校と現籍校とが情報を共有することが可能となります。(p.5・p.6 参照)

進学予定の学校名や関係機関名等を記入する。

進学予定の学校名や関係機関名等を記入する。

この「引継ぎシート」をもとに、【 ○○中学校 】と情報共有し、その後に【 ○○中学校 】が現籍校、関係機関等に連絡を取り、学校生活に必要な情報を共有することに同意します。

令和 年 月 日

児童氏名 ○○ ○○

保護者氏名 △△ △△ 印



6 「引継ぎシート」と「個別の教育支援計画」等との関係

引継ぎシート + 個別の教育支援計画の内容 = 個別の教育支援計画
(フェイスシート) (個別の指導計画を含む児童生徒に応じた内容)

「個別の教育支援計画」は、障がいのある児童生徒の幼児期から卒業までを見通し、一貫して的確な教育的支援を行うことを目的に、関係機関が連携・協力しながら、ライフステージに応じた教育的支援の内容・方法等を示した計画です。内容が多岐にわたり、複数の様式により構成されていたり、年度毎に追加又はファイリングされていたりします。

「引継ぎシート」は、引継ぎに特化した児童生徒の基礎的な情報で構成する1枚のシートであり、個別の教育支援計画においては、フェイスシートとしての内容が盛り込まれています。したがって、「引継ぎシート」は、個別の教育支援計画の一部となり得ると捉えることができます。また、個別の指導計画や個別の教育支援計画に必要とされる内容（医療・福祉等からの情報等）が記載されている用紙を「引継ぎシート」とファイリングすることにより、個別の教育支援計画として考えることができます。

以下に、「個別の指導計画」「個別の教育支援計画」「支援ファイル」について、その目的や作成手順等を紹介しますので、参考にしてください。

(1) 個別の指導計画

幼児児童生徒一人一人の障がいの状態等に応じたきめ細かな指導が行えるよう、学校における教育課程や指導計画、当該幼児児童生徒の個別の教育支援計画等を踏まえて、より具体的に個々の教育的ニーズに対応して、指導目標や指導内容・方法等を盛り込んで作成される計画。

目的 「幼児児童生徒一人一人の障がいの状態等に応じたきめ細かな指導が行えるよう」
手順① 「学校における教育課程や指導計画、当該幼児児童生徒の個別の教育支援計画等を踏まえて」
ポイントA 「より具体的に」
ポイントB 「教育的ニーズに対応して」
手順② 「指導目標や指導内容・方法等を盛り込む」



それぞれの学びの場、児童生徒の実状に応じた様式・記載内容が必要

- ◎特別支援学校においては、「各教科等」「自立活動」の個別の指導計画
- ◎特別支援学級においては、「各教科等（知的障がい以外は必要に応じて）」「自立活動」の個別の指導計画
- ◎通級による指導においては、「自立活動」の個別の指導計画
- ◎通常の学級においては、当該幼児児童生徒の教育的ニーズに対応した個別の指導計画

(2) 個別の教育支援計画

障がいのある児童生徒の一人一人のニーズを正確に把握し、教育の視点から適切に対応していくという考えの下、乳幼児期から学校卒業後までの長期的な視点に立って、一貫して的確な教育的支援を目的として作成されるもので、福祉、医療、労働等の関係機関等との連携を図りつつ作成される計画。

前提	「障がいのある幼児児童生徒一人一人のニーズを正確に把握し、 教育の視点から適切に対応していくという考え方の下に」
ポイント	「乳幼児期から学校卒業後までの長期的な視点に立って」
目的	「一貫して的確な教育的支援を行うため」
手順	「福祉、医療、労働等の関係機関との連携を図りつつ」
内容	「児童生徒の実態、学校での支援内容、福祉、医療、労働等の関係機関との支援内容」



それぞれの学びの場、児童生徒の実状、関係機関等に応じた様式・記載内容が必要

◎一人一人に応じて以下の様式・内容を選定した個別の教育支援計画

- ・フェイスシート
- ・保護者から得た情報
- ・本人・保護者の願いや目標（長期・短期等）
- ・医療、福祉、労働等、関係機関から得た情報や役割
- ・入学前の園、学校等から得た情報
- ・指導の計画・評価
- ・相談の記録

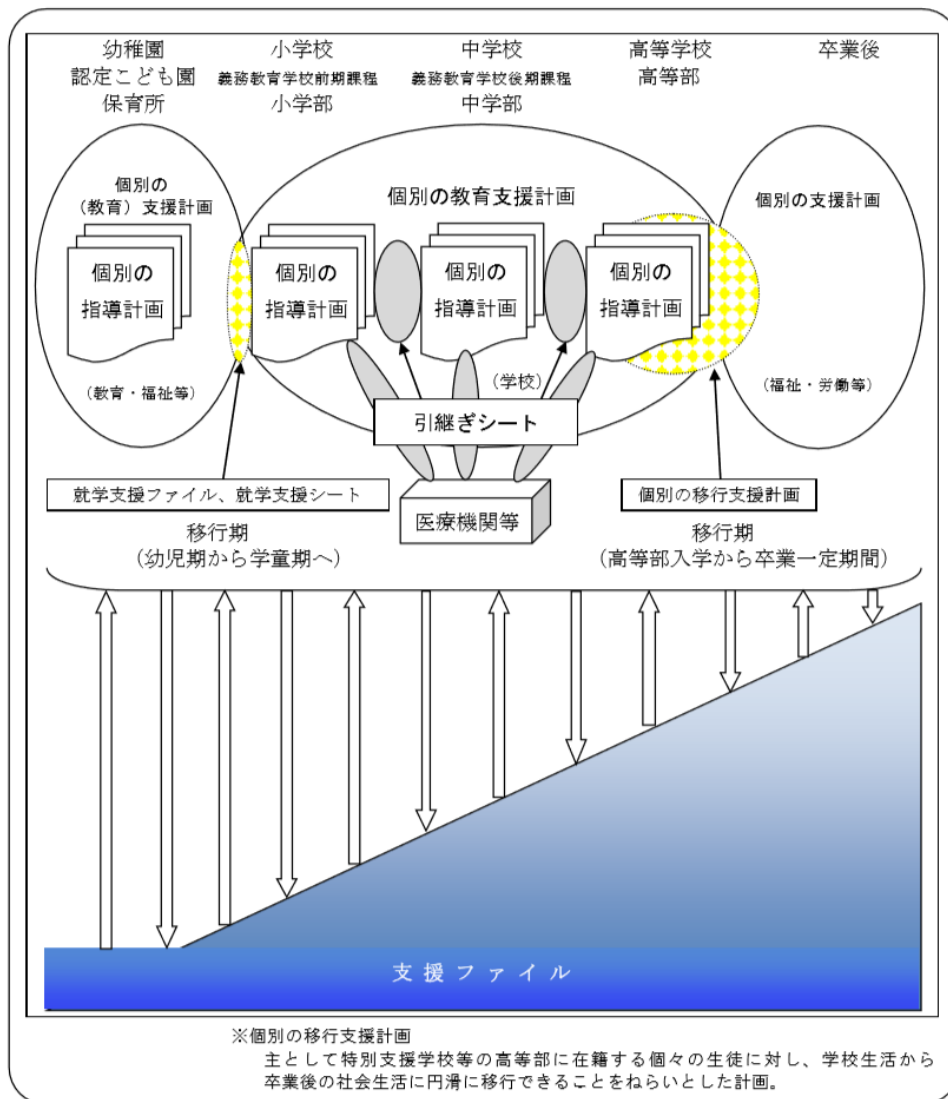
◎障がい種による教育課程である特別支援学校は、統一した様式による個別の教育支援計画

(3) 支援ファイル（サポートファイル、相談支援ファイル、就学支援ファイル）

作成	保護者
管理	保護者
背景	・子どもに関する内容について、保護者が関係する方に同じ説明を何度もしないで、スムーズに支援してもらうためのもの ・保護者が子どもに関する内容について、伝え忘れをしないためのもの ・障がい等の特性、指導・支援の内容、かかわっている支援機関等の情報をまとめ、情報を共有し引き継ぐためのもの ・それぞれの圏域や市町村の自立支援協議会と連携しながら様式や配布・活用方法等の検討・確認を行うもの
形態	ファイリング方式が一般的



それぞれの圏域や市町村の実状に応じた様式・記載内容



「引継ぎシート」と「個別の教育支援計画」等との関係 岩手県教育委員会，2019

7 保存年月

「引継ぎシート」は、個人情報として保護されるものであり、各学校では適切な取扱いが求められます。
「引継ぎシート」は、当該年度の3月31日までに引継ぎを行うものであり、各学校においては、個別の教育支援計画に関する記録の保存期間を参考とし、5年間保存されることが文書管理上望ましいです。

「引継ぎシート」を活用する

1 小学校から中学校等への引継ぎについて

*小学校（現籍校）から中学校等（進学先）へ引き継ぐ場合について、例を示します。

① 活用の具体的手順（例）

階	時期	内容	具体的な手順
作成前	4月～ *下記【ポイント】参照	本人・保護者との情報共有	<ul style="list-style-type: none"> 学校と保護者で、日頃から情報共有を行い、保護者との関係づくり（p.5 参照）をする。 対象児童の支援の確認をする。
作成	11月頃 までに *下記【ポイント】参照	校内委員会等を開き、中学校等への引継ぎが必要な児童を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> 既に保護者の了承のもとに支援を行っている児童であるかを確認する。 <校内委員会> ①引継ぎが必要な場合の報告 （担任・特別支援教育コーディネーター） ②職員会議等で共通理解
	12月頃 *下記【ポイント】参照	保護者と面談する。	<ul style="list-style-type: none"> 担任は、保護者との情報共有をもとに「引継ぎシート」を作成する。 担任から保護者へ「引継ぎシート」をもとに学校生活の様子について伝える。 保護者の要望や今後の指導・支援の方向性、「引継ぎシート」の修正箇所等について確認する。
引継ぎ	2月頃	保護者に「引継ぎシート」を進学予定の学校に提出することを確認する。	<ul style="list-style-type: none"> これまで共有してきた「引継ぎシート」を進学予定の学校に提出することを担任と保護者との間で確認し、保護者から同意を得る。
	3月上旬	進学予定の学校に連絡し、引継ぎの日程を調整する。	<ul style="list-style-type: none"> 小中連携会議、小中引継ぎ会議等で引継ぎを行う。双方にとって都合がよい日程を調整する。
	3月下旬	担当者同士が面談し、支援情報を引き継ぐ。	<ul style="list-style-type: none"> 「引継ぎシート」をもとに、児童の基本情報を引き継ぐ。
引継ぎ後	4月～	進学先との情報交換 等	<ul style="list-style-type: none"> 必要に応じて、進学先の学校と情報交換を行う。

【ポイント】

- ①この日程は、引継ぎの際の目安です。日頃から学校と保護者が情報を共有することが、何よりも重要となります。進学時のみに限らず、日頃の情報共有に「引継ぎシート」を活用することも考えられます。
- ②各学校においては、特別支援教育コーディネーターや関係職員等の協力体制の下に、保護者や関係機関との連携が図られるようにしていくことが大切です。
- ③卒業後も、進学先の学校からの問い合わせに対応できるように備えることが大切です。

② 中学校等（進学先の学校）での活用

中学校では、チームで対応するために特別支援教育コーディネーター及び各学年主任等が中心となり、小学校からの引継ぎシートの情報をもとに、校内委員会で具体的な支援を確認・検討し、支援に向けた取組を速やかに始めると、よりスムーズになります。校内委員会で検討した内容は、教職員全体で共有し、指導・支援を円滑につなげていくようにします。

「引継ぎシート」活用例

場・会議等	内容
職員会議 校内委員会 学年会 支援会議	<ul style="list-style-type: none">・ 校内での共通理解・ 本人や保護者との情報共有 (①支援内容の確認 ②支援内容の随時見直し)・ 関係機関との情報共有・ 支援内容の検討・ 「引継ぎシート」を基にした「個別の指導計画」の作成・ 「個別の指導計画」を活用した指導・支援

③ 関係機関等（医療機関、相談機関、福祉関係等）との情報共有

進学先の学校への引継ぎの他に、関係機関等と情報を共有するために、引継ぎシートを活用することも可能です。

その際は、学校が直接、各関係機関等に連絡を取るのではなく、最初は保護者を通じて、連絡をいただく形が望ましいです。



引継ぎシート【小学校版】

作成日：令和 年 月 日 学校名： 小学校 校長： 印
 作成者： 印

1 児童の概要

【担任・特支教育 Co・養護教諭・その他（ ）】

児童氏名		性別	生年月日		
ふりがな 氏名			年	月	日
関係医療機関			関係相談機関（者）・支援機関（者）		
病院名			機関名		
主治医			担当者		
診断名			相談時期		
診断時期			その他参考事項		
服薬（薬名）	有（ ）・無	有（ ）・無	手帳の所持状況		
その他参考事項			<input type="checkbox"/> 身体障害者 <input type="checkbox"/> 療育 <input type="checkbox"/> 精神保健福祉		
興味・好きなこと					
苦手なこと					
本人の将来の希望（進路含む）					
家族関係の特記事項					

2 保護者からの要望

<input type="checkbox"/> 学習 <input type="checkbox"/> 生活 <input type="checkbox"/> 対人 <input type="checkbox"/> 発達 <input type="checkbox"/> 健康 <input type="checkbox"/> その他（ ）

3 出席状況

<input type="checkbox"/> 教室 <input type="checkbox"/> 保健室・別室 <input type="checkbox"/> 適応指導教室 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年
保健室・別室・適応指導教室						
遅刻						
早退						
欠席・遅刻・早退・別室 登校がみられた理由・きっかけ						

4 学習上・生活上の様子 (できているところにレを記入してください。困難さが無い場合は、全てにレを記入してください。困難さについては、項目の1・2・5の欄に自由に記入してください。)

健康	<input type="checkbox"/> 生活リズムが整っている <input type="checkbox"/> 基本的な生活習慣(食事・睡眠・排泄)が身に付いている <input type="checkbox"/> 衣服の調節ができる <input type="checkbox"/> 清潔の保持ができる <input type="checkbox"/> 自分の病気の状態を理解できる <input type="checkbox"/> 自分の病気の状態を自己管理できる <input type="checkbox"/> 健康に関して自己管理できる <input type="checkbox"/> 健康状況に伴う困難さの状態や必要な支援について他者に伝えることができる
心理	<input type="checkbox"/> 情緒が安定している <input type="checkbox"/> 状況に応じて不安や緊張を軽減する <input type="checkbox"/> 自分の困難さの状態を理解したり、受容したりしている
人間関係	<input type="checkbox"/> 他者との関わりを好む <input type="checkbox"/> 他者の意図や感情を理解している <input type="checkbox"/> 場に応じた適切な行動をとる <input type="checkbox"/> 自分の得意なことや不得意なことを理解している <input type="checkbox"/> 集団の中で状況に応じた行動ができる
環境	<input type="checkbox"/> 自分の感覚を有効に活用できる <input type="checkbox"/> 自分の感覚の過敏さや認知特性について理解している <input type="checkbox"/> 補助機器を活用して自分の視覚・聴覚・触覚・嗅覚等の困難さを補っている <input type="checkbox"/> 感覚を総合的に活用して、的確な判断や行動ができる
身体	<input type="checkbox"/> 姿勢保持ができる <input type="checkbox"/> 上肢・下肢の運動や動作がスムーズである <input type="checkbox"/> 補助的手段を活用して姿勢保持や運動・動作ができる <input type="checkbox"/> 学習・作業のための基本的動作(書字・描画等)が身に付いている <input type="checkbox"/> 日常生活に必要な移動能力がある (※車椅子等の補助的手段を活用する場合は、右欄に記載すること) → ()
コミュニケーション	<input type="checkbox"/> 相手の意図を受け止める <input type="checkbox"/> 自分の考えを伝える <input type="checkbox"/> 事物や現象、自分の行動に対応した言語を身に付けている <input type="checkbox"/> 話し言葉を使ってコミュニケーションができる <input type="checkbox"/> 文字・記号、機器、手話等を活用してコミュニケーションができる <input type="checkbox"/> 場や相手に応じたコミュニケーションができる

5 学校での様子

指導形態			
□通常の学級		□特別支援学級	
□通級による指導		□その他 ()	
場面	様子等	支援内容・配慮事項	本人の支援継続希望
登下校時 配慮あり□ 配慮なし□			
授業中 配慮あり□ 配慮なし□	□通常の学級 □特別支援学級 □通級による指導 □その他		
学習以外の時間 配慮あり□ 配慮なし□			
集団活動 配慮あり□ 配慮なし□			
放課後 配慮あり□ 配慮なし□			
その他参考事項			

この「引継ぎシート」をもとに、【 】と情報を共有し、その後に【 】が現籍校、関係機関等に連絡をとり、学校生活に必要な情報を共有することに同意します。

令和 年 月 日

児童氏名

保護者氏名

印

作成日: 令和2年3月15日

学校名: ○○市立△△小学校

校長: ○○ ○○ 印

作成者: △△ △△ 印

1 児童の概要

【担任・特支教育 Co・養護教諭・その他()】

児童氏名		性別	生年月日		
ふりがな 氏名	[ふりがな] ○○ ○○○		年	月	日
関係医療機関		関係相談機関(者)・支援機関(者)			
病院名	○○病院	機関名	○○センター	SC	
主治医	○○○○	担当者	○○○○	○○○○	
診断名	知的障がい	相談時期	X年～	X年～(月に1回)	
診断時期	3歳	その他参考事項			
服薬(薬名)	有()・ <input checked="" type="radio"/> 無	有()・無	手帳の所持状況		
その他参考事項			<input type="checkbox"/> 身体障害者	<input checked="" type="checkbox"/> 療育	<input type="checkbox"/> 精神保健福祉
興味・好きなこと	<ul style="list-style-type: none"> ・新幹線が大好きである。 ・友達と遊ぶことが好きで、電車ごっこを楽しんでいる。 				
苦手なこと	<ul style="list-style-type: none"> ・会話が一方的になる時が多い。 ・時間を気にするあまり、最後まで丁寧に作業をすることが難しい。 				
本人の将来の希望(進路含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校では、友達と仲良く過ごしたい。 ・できるだけ交流学級で過ごし、いろいろなこと(社会性)を身につけたい。 ・○○高校に進学したい。(親戚も通っていた学校なので) 				
家族関係の特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・父親が単身赴任である。 				

2 保護者からの要望

<input checked="" type="checkbox"/> 学習 <input checked="" type="checkbox"/> 生活 <input type="checkbox"/> 対人 <input checked="" type="checkbox"/> 発達 <input type="checkbox"/> 健康 <input type="checkbox"/> その他()
<ul style="list-style-type: none"> ・宿題の量が多く、家庭学習に時間がかかった。中学校では、少し減らしてほしい。 ・できるだけ交流学級で過ごして、社会性を身につけてほしい。友達の動きを見ながら活動できる子なので、先生方に声をかけてもらいながら活動させてほしい。将来は、どこかの会社で働いてほしい。

3 出席状況

<input checked="" type="checkbox"/> 教室	<input type="checkbox"/> 保健室・別室	<input type="checkbox"/> 適応指導教室	<input type="checkbox"/> その他()			
学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年
保健室・別室・適応指導教室	0	0	0	0	0	0
遅刻	2	0	0	0	0	0
早退	2	1	2	3	2	2
欠席・遅刻・早退・別室 登校がみられた理由・きっかけ	腹痛	風邪	風邪	腹痛	風邪	発熱

4 学習上・生活上の様子（できているところにレを記入してください。困難さが無い場合は、全てにレを記入してください。困難さについては、項目の1・2・5の欄に自由に記入してください。）

健康	<input type="checkbox"/> 生活リズムが整っている <input checked="" type="checkbox"/> 基本的な生活習慣（食事・睡眠・排泄）が身に付いている <input type="checkbox"/> 衣服の調節ができる <input type="checkbox"/> 清潔の保持ができる <input type="checkbox"/> 自分の病気の状態を理解できる <input type="checkbox"/> 自分の病気の状態を自己管理できる <input type="checkbox"/> 健康に関して自己管理できる <input type="checkbox"/> 健康状況に伴う困難さの状態や必要な支援について他者に伝えることができる
心理	<input type="checkbox"/> 情緒が安定している <input type="checkbox"/> 状況に応じて不安や緊張を軽減する <input type="checkbox"/> 自分の困難さの状態を理解したり、受容したりしている
人間関係	<input checked="" type="checkbox"/> 他者との関わりを好む <input type="checkbox"/> 他者の意図や感情を理解している <input type="checkbox"/> 場に応じた適切な行動をとる <input type="checkbox"/> 自分の得意なことや不得意なことを理解している <input type="checkbox"/> 集団の中で状況に応じた行動ができる
環境	<input checked="" type="checkbox"/> 自分の感覚を有効に活用できる <input type="checkbox"/> 自分の感覚の過敏さや認知特性について理解している <input checked="" type="checkbox"/> 補助機器を活用して自分の視覚・聴覚・触覚・嗅覚等の困難さを補っている <input type="checkbox"/> 感覚を総合的に活用して、的確な判断や行動ができる
身体	<input checked="" type="checkbox"/> 姿勢保持ができる <input checked="" type="checkbox"/> 上肢・下肢の運動や動作がスムーズである <input checked="" type="checkbox"/> 補助的手段を活用して姿勢保持や運動・動作ができる <input checked="" type="checkbox"/> 学習・作業のための基本的動作（書字・描画等）が身に付いている <input checked="" type="checkbox"/> 日常生活に必要な移動能力がある（※車椅子等の補助的手段を活用する場合は、右欄に記載すること）→（ ）
コミュニケーション	<input type="checkbox"/> 相手の意図を受け止める <input checked="" type="checkbox"/> 自分の考えを伝える <input type="checkbox"/> 事物や現象、自分の行動に対応した言語を身に付けている <input checked="" type="checkbox"/> 話し言葉を使ってコミュニケーションができる <input checked="" type="checkbox"/> 文字・記号、機器、手話等を活用してコミュニケーションができる <input type="checkbox"/> 場や相手に応じたコミュニケーションができる

5 学校での様子

指導形態			
□通常の学級		<input checked="" type="checkbox"/> 特別支援学級	
□通級による指導		□その他（ ）	
場面	様子等	支援内容・配慮事項	本人の支援継続希望
登下校時 配慮あり□ 配慮なし <input checked="" type="checkbox"/>			
授業中 配慮あり□ 配慮なし□	<input type="checkbox"/> 通常の学級 <input checked="" type="checkbox"/> 特別支援学級 <input type="checkbox"/> 通級による指導 <input type="checkbox"/> その他 ・質問に対する答えがずれるときがあり、一方的な話をしている。	・簡単な言い換えで説明するようにした。 ・話してもよい時間を設定した。	○
学習以外の時間 配慮あり <input checked="" type="checkbox"/> 配慮なし□	・ルールや約束事を理解できずに、友達とトラブルになることがあった。	・ルールや約束事をかみ砕いて説明した。視覚化して理解を促した。	
集団活動 配慮あり <input checked="" type="checkbox"/> 配慮なし□	・一斉指示が理解できず、周囲児童と違う行動をとる時があった。	・活動の見通しを持たせ、個別に声かけをした。	○
放課後 配慮あり□ 配慮なし <input checked="" type="checkbox"/>			
その他参考事項	・田中ビネー○○	・年齢と共に社会性の部分で成長しているように感じる。	

この「引継ぎシート」をもとに、【 ○○中学校 】と情報を共有し、その後に【 ○○中学校 】が現籍校、関係機関等に連絡をとり、学校生活に必要な情報を共有することに同意します。

令和 年 月 日

児童氏名

保護者氏名

印

2 中学校から高等学校等への引継ぎについて

* 中学校（現籍校）から高等学校等（進学先）へ引き継ぐ場合について、例を示します。

① 活用の具体的手順（例）

階	時 期	内 容	具体的な手順
作成前	4月～ *下記【ポイント】参照	本人・保護者との情報共有	<ul style="list-style-type: none"> 学校と保護者で、日頃から情報共有を行い、保護者との関係づくり（p.5 参照）をする。 対象生徒の支援の確認をする。
作成	11月頃 までに *下記【ポイント】参照	校内委員会等を開き、高等学校等への引継ぎが必要な生徒を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> 既に保護者の了承のもとに支援を行っている児童であるかを確認する。 <校内委員会> ①引継ぎが必要な場合の報告 （担任・特別支援教育コーディネーター） ②職員会議等で共通理解
	12月頃 *下記【ポイント】参照	保護者と面談する。	<ul style="list-style-type: none"> 担任は、保護者との情報共有をもとに「引継ぎシート」を作成する。 担任から保護者へ「引継ぎシート」をもとに学校生活の様子について伝える。 保護者の要望や今後の指導・支援の方向性、「引継ぎシート」の修正箇所等について確認する。
引継ぎ	2月頃	保護者に「引継ぎシート」を進学予定の学校に提出することを確認する。	<ul style="list-style-type: none"> これまで共有してきた「引継ぎシート」を進学予定の学校に提出することを担任と保護者との間で確認し、保護者から同意を得る。
	3月中旬	進学予定の学校に連絡し、引継ぎの日程を調整する。	<ul style="list-style-type: none"> 双方にとって都合がよい日程を調整する。
	3月下旬 ～ 4月上旬	担当者同士が面談し、支援情報を引き継ぐ。	<ul style="list-style-type: none"> 高等学校入学者選抜、特別支援学校入学者選考の合格発表後に引継ぎを行う。 「引継ぎシート」をもとに、生徒の基本情報を引き継ぐ。
引継ぎ後	4月～	進学先との情報交換 等	<ul style="list-style-type: none"> 必要に応じて、進学先の学校と情報交換を行う。

【ポイント】

- ①この日程は、引継ぎの際の目安です。日頃から学校と保護者が情報を共有することが、何よりも重要となります。進学時のみに限らず、日頃の情報共有に「引継ぎシート」を活用することも考えられます。
- ②各学校においては、特別支援教育コーディネーターや関係職員等の協力体制の下に、保護者や関係機関との連携が図られるようにしていくことが大切です。
- ③卒業後も、進学先の学校からの問い合わせに対応できるように備えることが大切です。

② 高等学校等（進学予定の学校）での活用

高等学校では、チームで対応するために特別支援教育コーディネーター等が中心となり、中学校からの引継ぎシートの情報をもとに、校内委員会で具体的な支援を確認・検討し、支援に向けた取組を速やかに始めると、よりスムーズになります。高等学校での対応等を検討し、個別の指導計画を作成するなど、教職員全体で共有し、指導・支援を円滑につなげていくようにします。

「引継ぎシート」活用例

場・会議等	内容
職員会議 校内委員会 学年会 支援会議	<ul style="list-style-type: none">・ 校内での共通理解・ 本人や保護者との情報共有 （①支援内容の確認 ②支援内容の随時見直し）・ 関係機関との情報共有・ 支援内容の検討・ 「引継ぎシート」を基にした「個別の指導計画」の作成・ 「個別の指導計画」を活用した指導・支援

③ 関係機関等（医療機関、相談機関、福祉関係等）との情報共有

進学先の学校への引継ぎの他に、関係機関等と情報を共有するために、引継ぎシートを活用することも可能です。

その際は、学校が直接、各関係機関等に連絡を取るのではなく、最初は保護者を通じて、連絡をもらう形が望ましいです。



引継ぎシート【中学校版】

作成日：令和 年 月 日 学校名： 中学校 校長： 印
 作成者： 印

1 生徒の概要

【担任・特支教育 Co・養護教諭・その他（ ）】

生徒氏名		性別	生年月日	
ふりがな 氏名			年	月 日
関係医療機関		関係相談機関（者）・支援機関（者）		
病院名		機関名		
主治医		担当者		
診断名		相談時期		
診断時期		その他参考事項		
服薬（薬名）	有（ ）・無	有（ ）・無	手帳の所持状況	
その他参考事項			<input type="checkbox"/> 身体障害者 <input type="checkbox"/> 療育 <input type="checkbox"/> 精神保健福祉	
興味・好きなこと				
苦手なこと				
本人の将来の希望（進路含む）				
家族関係の特記事項				

2 保護者からの要望

学習 生活 対人 発達 健康 その他（ ）

3 出席状況

<input type="checkbox"/> 教室	<input type="checkbox"/> 保健室・別室	<input type="checkbox"/> 適応指導教室	<input type="checkbox"/> その他（ ）
学年	1年	2年	3年
保健室・別室・適応指導教室			
遅刻			
早退			
欠席・遅刻・早退・別室 登校がみられた理由・きっかけ			

4 学習上・生活上の様子 (できているところにレを記入してください。困難さが無い場合は、全てにレを記入してください。困難さについては、項目の1・2・5の欄に自由に記入してください。)

健康	<input type="checkbox"/> 生活リズムが整っている <input type="checkbox"/> 基本的な生活習慣(食事・睡眠・排泄)が身に付いている <input type="checkbox"/> 衣服の調節ができる <input type="checkbox"/> 清潔の保持ができる <input type="checkbox"/> 自分の病気の状態を理解できる <input type="checkbox"/> 自分の病気の状態を自己管理できる <input type="checkbox"/> 健康に関して自己管理できる <input type="checkbox"/> 健康状況に伴う困難さの状態や必要な支援について他者に伝えることができる
心理	<input type="checkbox"/> 情緒が安定している <input type="checkbox"/> 状況に応じて不安や緊張を軽減する <input type="checkbox"/> 自分の困難さの状態を理解したり、受容したりしている
人間関係	<input type="checkbox"/> 他者との関わりを好む <input type="checkbox"/> 他者の意図や感情を理解している <input type="checkbox"/> 場に応じた適切な行動をとる <input type="checkbox"/> 自分の得意なことや不得意なことを理解している <input type="checkbox"/> 集団の中で状況に応じた行動ができる
環境	<input type="checkbox"/> 自分の感覚を有効に活用できる <input type="checkbox"/> 自分の感覚の過敏さや認知特性について理解している <input type="checkbox"/> 補助機器を活用して自分の視覚・聴覚・触覚・嗅覚等の困難さを補っている <input type="checkbox"/> 感覚を総合的に活用して、的確な判断や行動ができる
身体	<input type="checkbox"/> 姿勢保持ができる <input type="checkbox"/> 上肢・下肢の運動や動作がスムーズである <input type="checkbox"/> 補助的手段を活用して姿勢保持や運動・動作ができる <input type="checkbox"/> 学習・作業のための基本的動作(書字・描画等)が身に付いている <input type="checkbox"/> 日常生活に必要な移動能力がある (※車椅子等の補助的手段を活用する場合は、右欄に記載すること) → ()
コミュニケーション	<input type="checkbox"/> 相手の意図を受け止める <input type="checkbox"/> 自分の考えを伝える <input type="checkbox"/> 事物や現象、自分の行動に対応した言語を身に付けている <input type="checkbox"/> 話し言葉を使ってコミュニケーションができる <input type="checkbox"/> 文字・記号、機器、手話等を活用してコミュニケーションができる <input type="checkbox"/> 場や相手に応じたコミュニケーションができる

5 学校での様子

指導形態			
□通常の学級		□特別支援学級	
□通級による指導		□その他 ()	
場面	様子等	支援内容・配慮事項	本人の支援継続希望
登下校時 配慮あり□ 配慮なし□			
授業中 配慮あり□ 配慮なし□	□通常の学級 □特別支援学級 □通級による指導 □その他		
学習以外の時間 配慮あり□ 配慮なし□			
集団活動 配慮あり□ 配慮なし□			
部活動 配慮あり□ 配慮なし□			
その他参考事項			

この「引継ぎシート」をもとに、【 】と情報を共有し、その後に【 】が現籍校、関係機関等に連絡をとり、学校生活に必要な情報を共有することに同意します。

令和 年 月 日

生徒氏名 _____

保護者氏名 _____

印 _____

作成日：令和2年3月15日

学校名：〇〇市立△△中学校

校長：〇〇 〇〇

印

作成者：△△ △△

印

1 生徒の概要

【担任 特支教育 Co・養護教諭・その他()】

生徒氏名		性別	生年月日		
ふりがな 氏名	[ふりがな] 〇〇 〇〇〇		年	月	日
関係医療機関		関係相談機関(者)・支援機関(者)			
病院名	〇〇病院	機関名	〇〇センター	スクールカウンセラー	
主治医	〇〇〇〇	担当者	〇〇〇〇	〇〇〇〇	
診断名	△△△△	相談時期	X年～	X年～(月に1回)	
診断時期	小学3年生	その他参考事項	〇年に心理検査実施	母親も通っている	
服薬(薬名)	<input checked="" type="checkbox"/> (〇〇)・無	有()・無	手帳の所持状況		
その他参考事項	服用により落ち着いている	<input type="checkbox"/> 身体障害者 <input type="checkbox"/> 療育 <input type="checkbox"/> 精神保健福祉			
興味・好きなこと	<ul style="list-style-type: none"> ・ゲーム。 ・スポーツに関する知識が豊富。特にサッカーに関する知識は豊富にある。 ・教科では歴史が好きで、本人も自信を持っている教科である。 				
苦手なこと	<ul style="list-style-type: none"> ・ストレスがたまると、夜遅くまでゲームをしている。翌日、起きるのが辛いときがあった。 ・テスト前にプリントが増えると紛失が多い。 				
本人の将来の希望(進路含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・高校では、サッカー部でがんばりたい。早く友達と仲良くなりたい。 ・高校卒業後は、専門学校で勉強したい。将来ゲームのプログラマーになりたい。 				
家族関係の特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・母親が外国籍。 				

2 保護者からの要望

<input type="checkbox"/> 学習	<input checked="" type="checkbox"/> 生活	<input type="checkbox"/> 対人	<input type="checkbox"/> 発達	<input type="checkbox"/> 健康	<input type="checkbox"/> その他()
<ul style="list-style-type: none"> ・ゲームのしすぎで、睡眠時間が少ない。授業中、ボーッとしているようなので、高校に向け、生活リズムを整えたい。 					

3 出席状況

<input checked="" type="checkbox"/> 教室	<input type="checkbox"/> 保健室・別室	<input type="checkbox"/> 適応指導教室	<input type="checkbox"/> その他()	
学年	1年		2年	3年
保健室・別室・適応指導教室			3	7
遅刻			5	10
早退			10	20
欠席・遅刻・早退・別室登校がみられた理由・きっかけ			友達とのトラブル	夜遅くまでゲームをしている。昼夜逆転があった。

4 学習上・生活上の様子（できているところにレを記入してください。困難さが無い場合は、全てにレを記入してください。困難さについては、項目の1・2・5の欄に自由に記入してください。）

健康	<input type="checkbox"/> 生活リズムが整っている <input checked="" type="checkbox"/> 基本的な生活習慣（食事・睡眠・排泄）が身に付いている <input checked="" type="checkbox"/> 衣服の調節ができる <input checked="" type="checkbox"/> 清潔の保持ができる <input type="checkbox"/> 自分の病気の状態を理解できる <input type="checkbox"/> 自分の病気の状態を自己管理できる <input type="checkbox"/> 健康に関して自己管理できる <input type="checkbox"/> 健康状況に伴う困難さの状態や必要な支援について他者に伝えることができる
心理	<input type="checkbox"/> 情緒が安定している <input checked="" type="checkbox"/> 状況に応じて不安や緊張を軽減する <input type="checkbox"/> 自分の困難さの状態を理解したり、受容したりしている
人間関係	<input checked="" type="checkbox"/> 他者との関わりを好む <input type="checkbox"/> 他者の意図や感情を理解している <input type="checkbox"/> 場に応じた適切な行動をとる <input checked="" type="checkbox"/> 自分の得意なことや不得意なことを理解している <input checked="" type="checkbox"/> 集団の中で状況に応じた行動ができる
環境	<input checked="" type="checkbox"/> 自分の感覚を有効に活用できる <input type="checkbox"/> 自分の感覚の過敏さや認知特性について理解している <input checked="" type="checkbox"/> 補助機器を活用して自分の視覚・聴覚・触覚・嗅覚等の困難さを補っている <input type="checkbox"/> 感覚を総合的に活用して、的確な判断や行動ができる
身体	<input checked="" type="checkbox"/> 姿勢保持ができる <input checked="" type="checkbox"/> 上肢・下肢の運動や動作がスムーズである <input checked="" type="checkbox"/> 補助的手段を活用して姿勢保持や運動・動作ができる <input checked="" type="checkbox"/> 学習・作業のための基本的動作（書字・描画等）が身に付いている <input checked="" type="checkbox"/> 日常生活に必要な移動能力がある（※車椅子等の補助的手段を活用する場合は、右欄に記載すること）→（ ）
コミュニケーション	<input type="checkbox"/> 相手の意図を受け止める <input checked="" type="checkbox"/> 自分の考えを伝える <input checked="" type="checkbox"/> 事物や現象、自分の行動に対応した言語を身に付けている <input checked="" type="checkbox"/> 話し言葉を使ってコミュニケーションができる <input checked="" type="checkbox"/> 文字・記号、機器、手話等を活用してコミュニケーションができる <input type="checkbox"/> 場や相手に応じたコミュニケーションができる

5 学校での様子

指導形態					
場面		様子等		支援内容・配慮事項	本人の支援継続希望
<input checked="" type="checkbox"/> 通常の学級 <input type="checkbox"/> 特別支援学級 <input type="checkbox"/> 通級による指導 <input type="checkbox"/> その他（ ）					
登下校時	<input checked="" type="checkbox"/> 配慮あり <input type="checkbox"/> 配慮なし	・遅刻が多かった。		・家庭への連絡を頻繁に行った。就寝時刻をチェックし、声かけを行った。	○
授業中	<input checked="" type="checkbox"/> 配慮あり <input type="checkbox"/> 配慮なし	<input checked="" type="checkbox"/> 通常の学級 <input type="checkbox"/> 特別支援学級 <input type="checkbox"/> 通級による指導 <input type="checkbox"/> その他 ・午前中から眠たそうにしている時が多かった。		・個別に声かけをした。	○
学習以外の時間	<input type="checkbox"/> 配慮あり <input checked="" type="checkbox"/> 配慮なし				
集団活動	<input checked="" type="checkbox"/> 配慮あり <input type="checkbox"/> 配慮なし	・遅刻した日は集中して活動することが難しい。		・個別に声かけをした。保健室で休憩するように促した。	
部活動	<input type="checkbox"/> 配慮あり <input checked="" type="checkbox"/> 配慮なし	・サッカー部に所属していた。選手として活躍していた。			
その他参考事項					

この「引継ぎシート」をもとに、【 ○○○高校 】と情報を共有し、その後に【 ○○○高校 】が現籍校、関係機関等に連絡をとり、学校生活に必要な情報を共有することに同意します。

令和 年 月 日

生徒氏名

保護者氏名

印

そこが知りたい！ Q&A

Q1. 小学校から「引継ぎシート」が来た場合、中学校では、1年生では特別な支援を行いました
が、次第に必要ななくなりました。3年生では支援の必要なしという判断で過ごしている場合
は、作成する必要がありますか。

学校判断とします。例えば、「病弱」の児童生徒の様子について引き継がれた場合、その後の治療が
進んで、病気に対する配慮が不要となった場合は、引き継ぐ必要はありません。

Q2. 中学校でも3年間支援を行ってきました。小学校からの「引継ぎシート」は、中学校から高校
への「引継ぎシート」と一緒に渡す必要がありますか。

小学校の「引継ぎシート」は渡す必要はありません。ただし、進学先の高校で必要となった場合は、
保護者の了承を得て、提出することも考えられます。

Q3. 市町村の支援ファイルを引継ぎに使用しています。それでも作成するものですか。

通常学級に在籍する特別な支援を必要とする全ての児童生徒に対して活用しているのであれば、各
市町村の支援ファイルを活用してください。

Q4. 欄を広げて、ページ数を増やしてもいいのですか。

「引継ぎシート」は基本情報であるので、進学先に多くのシートが提出されること等から、ページ
数は増やしません。(A4判1枚にまとめます。)

Q5. 各高校独自で作成・活用しているシートがある場合、生徒によっては二種類作成してもらうこ
とになりますか。

基本情報については統一します。その後の詳細について確認したい場合は、各学校で個別に判断す
ることとします。

Q6. ここに記載されている以上のことを聞きたいときはどうしたらよいですか。

保護者の同意のもと、作成しています。現籍校に直接、問い合わせることが可能です。

Q7. 保護者から同意を得られなかった場合の対応について教えてほしいです。

同意を得ることが目的ではなく、日常的に学校と保護者が情報を共有し、支援・指導に活かすことが
大切です。対応の仕方については、5ページをご覧ください。